

平成24年度 上下水道部 経営計画書



部署名	上下水道部
役職・氏名	部長 竹原 正 朗

上下水道部 経営方針

● 部の使命

上水道は、市民生活や産業経済活動に欠くことのできないライフラインです。災害に強く、安全で良質な水道水を供給するため、高水準な施設整備を積極的に進め、安定的に「いつでも どこでも 安全で おいしい水」を給水いたします。
下水道は、快適な生活環境の整備だけでなく、自然から預かった「たからもの」である水を使用後、高度処理して還し、水質保全を図り、豊かな自然環境を守ります。「下水道 水から聞こえる ありがとう」を心に下水道事業を推進いたします。

● 部の基本方針

- ① 災害に備え、上水道の水源別、配水管エリアを結ぶ連絡管の敷設を進めます。
- ② 上水道の基幹施設の耐震化を進めます。
- ③ 災害や緊急時の水を確保するため調整池や配水池への緊急遮断弁を設置します。
- ④ 下水道の複数処理区について、さらに統合して合理化を進めます。
- ⑤ 下水道事業の進捗に資する経営健全化のため、供用開始区域内の接続推進を図ります。

● 平成24年度 部のスローガン

おいしい水の供給ときれいな水のある環境を守っていこう
 「おいしい水 きれいな水を 未来まで」

部署内経営資源

構成人員	正職員	臨時職員等	計	当初予算 (うち人件費)	水道事業会計 1,607,514 千円 下水道3特別会計 1,817,555 千円 (310,908)千円
	38	8	46		

上下水道部 重点事項

重点事項	具体的な取組内容	成果目標	進捗状況	達成状況
1 上水道、邑久・長船連絡管の布設	主に福山浄水場から給水している旧邑久牛窓水道企業団の管轄区域と、主に長船水源地から給水している旧長船町区域を連絡管で接続し、災害時に一方の水源のみで応急給水できるようにします。	平成24年度は、箕輪～土師間(香登川添架部)約94mの工事の実施(残延長約2,113mを平成28年度末までに完成させ連結する予定)	9月から施工、25年2月末に完了予定。(残延長約2,113mは平成25年度中に完成予定。)	平成25年3月28日。24年度分 延長148.811mの布設を完了。
2 上水道、基幹施設の耐震化	耐震診断により耐震化工事が必要とされた福山浄水場のポンプ棟の耐震補強、ろ過池の改修工事を昨年度に引き続き実施します。	福山浄水場のポンプ棟の耐震補強、ろ過池の改修工事の実施	ろ過池改修工事は8月30日に発注済、25年3月に完成予定。耐震補強は来年度以降の更新計画で実施予定。	ろ過池改修工事平成25年3月5日完成。耐震補強は、福山浄水場の更新計画で実施。
3 上水道、緊急遮断弁の設置	緊急時や災害などに対応するため、邑久調整池へ緊急遮断弁を設置します。	邑久調整池に緊急遮断弁設置工事の実施	10月29日に発注済。25年2月末に完成予定。	平成25年3月29日完成。
4 下水道の統合、合理化	瀬戸内市の下水道は、過去、着手年度が離れた小さな処理区が乱立し、それぞれ浄化センターがあるため、さらに合理化を進めます。	長船処理区の浄化センターを、最も新しい長船中央処理区の浄化センターへの統合のための実施計画の作成	2浄化センターの統合のための実施計画を作成中。	実施計画を見直して一部既存管利用ルートとの比較検討。※接続管延長1,600mが1,300mに変更検討。
5 下水道への接続推進	下水道事業の経営健全化には、利用者を増やす必要があります。使用料収入の増加を図るよう推進します。	供用開始予定地区へパンフレットを配布するとともに広報紙やホームページへ掲載し、接続率65%を目指します。	本年度は12月現在供用開始地区なし。年度末までに供用開始の区域にパンフレット等を準備中。	供用開始区域内の水 洗化率(下水道接続率) 64.3%を達成。